

[CDS-DS ストレージ導入事例]

仮想化基盤用ストレージ構築事例

要求されるシステム課題：

新規仮想基盤システムの構築に際し、仮想基盤システムとして、それぞれ用途が異なるストレージ領域を用意する必要がありました。そのため堅牢である事を第一に、管理面の容易性、同一の操作性、コストパフォーマンスに優れたストレージを導入することがシステム課題となりました。

ソリューション：

- VMware 仮想基盤用ストレージとして、CDS-DS ストレージを導入。
- 汎用用途、高速処理用、大容量データ用、DB 処理等、それぞれの用途に合わせて複数台の DS ストレージを導入し仮想基盤システムを構築。
- 事前検証作業を実施し、DS ストレージの細かなチューニングを実行。

DS ストレージ導入による効果：

業務用仮想基盤システムとして、信頼性の高いストレージボリューム提供を行うことに成功しました。併せて、用途により異なる SSD や HDD を搭載したストレージを導入することで、TCO の削減にも成功しています。これは、DS シリーズが豊富なラインナップから選択可能なことで、容量・パフォーマンスを無駄なく提供することができたことにより得られた導入効果です。

システム構成図：

